

【会議録】

| | |
|--------------|--|
| 会議名 | 第3回「赤坂でつながり隊」地域コミュニティ醸成支援業務委託事業候補者選考委員会 |
| 開催日時 | 令和4年2月10日（木）午後1時15分から午前2時15分まで |
| 開催場所 | 赤坂地区総合支所2階大会議室 |
| 委員 | 出席者5名 中島博子委員、重富敦委員、中島由美子委員、成清勝博委員、大原裕美子委員 欠席者 なし |
| 事務局 | 赤坂地区総合支所協働推進課協働推進係 甲斐、高梨、中村 |
| 会議次第 | 1 開会 2 第二次審査実施概要について 3 事業候補者によるプレゼンテーション及びヒアリングの実施 A事業者 30分 4 第二次審査結果及び事業候補者の選考について 5 その他 6 閉会 |
| 配付資料 | 資料1 第二次審査実施概要 資料2 第二次審査表 資料3 第一次審査・第二次審査集計結果（※採点終了後、差替え） 資料4 第2回選考委員会会議録概要 参考資料 第一次審査集計結果 |
| 会議の結果及び主要な発言 | |
| （発言者） | |
| 委員長 事務局 | 1 開会 （開会の挨拶） （事務局から配付資料について確認） |
| 事務局 | 2 第二次審査実施概要について （事務局から資料1について説明） |
| B委員 | 3 事業候補者によるプレゼンテーション及びヒアリングの実施 （A事業者によるプレゼンテーション） |
| 事業者A① | A事業者への質疑応答 補足資料に記載のあるWin-Winの関係となる活動団体同士の結びつきとは、具体的にどのようなものですか。 例えば、CSR活動をしたい企業・団体は人材を提供し活動ができ、町会はそのような外部団体から協力してもらい、一緒に活動することができるといった、お互い |

| | |
|-------|--|
| B 委員 | のメリットがあります。このような結びつきがWin-Winの関係と考えられます。できるだけ自主的な活動につなげるための支援は、具体的にどのようなものですか。 |
| 事業者A① | 赤坂地区を3つの地域に分け、それぞれの地域ごとに地域の課題や自分たちができることを話し合ってもらうことで、団体が求めるもの・提供できるものを共有でき、連携につながると考えています。 |
| B 委員 | 3つの地域の分けてしまうと、団体が持っている情報が小さくなるため、情報交換も小さくなってしまう可能性もあります。全体へのフォローの手法はどのようなものですか。 |
| 事業者A① | 赤坂地区の中でも、より近いエリアの団体を集めることによって、課題を共有しやすくなると考えています。また、各交流会で話し合った内容は、別の交流会でも提供し、最後の全体交流会を、赤坂地区全体として情報共有できる場としていきます。 |
| C 委員 | 事業者Aは、お住まい地域で、地域活動に携わっていますか。 |
| 事業者A① | 子どもの幼稚園が、幼稚園として地域のお祭り等に参加し父母も協力していました。そこで、地域の方々と交流していました。 |
| 事業者A② | 今のところはありませんが、先日子どもが生まれたので、今後保育園など、地域との関わりが増えていくと思います。そのため、これから地域コミュニティに入っていく側の気持ちを理解しやすいと思います。 |
| C 委員 | ご自身にとって今回の提案は、コミュニティに参加してもらう上で有効だと思いますか。 |
| 事業者A① | 私が住んでいる地域ではこのような事業はありませんが、こういった事業があると、地域交流のきっかけになると思います。 |
| 事業者A② | 防災協議会などを調べたりしましたが、情報が広く届いていないことが大きな課題だと考えました。情報の共有、インターネットやSNSで団体の活動内容を知ってもらうことが大切だと思います。 |
| C 委員 | 建設・環境部門に関する資格をお持ちですが、地域コミュニティ業務への実績や強みを教えてください。 |
| 事業者A② | 私は、ビオトープ管理士の資格を持っており、学校のビオトープ支援をしています。そこでは、保護者も巻き込んで、子ども達と一緒に触れ合ってもらうためにはどのようにすればよいか、という課題を抱えています。そこで、保護者の巻き込むための普及啓発の手法を提案したり、アドバイスをしています。 |
| C 委員 | 事業者Aは、複数の業務を抱えていると思います。複数の業務で、同時に対応が必要になった場合、どのように対応しますか。 |
| 事業者A① | 担当間で情報共有をしっかりと行い、対応できるようにします。 |
| D 委員 | 赤坂地区を3つの地域に分ける理由と、どのような分け方を想定しているか教えてください。 |
| 事業者A① | 同じ地域の中で、まずは課題を共有することが重要であると考えています。赤坂地区全体の団体が集まってしまうと、課題が共有しにくいと思います。そこで、赤坂地区の中でも、より近いエリアの団体を集めることによって、課題を共有しやすくなると考えています。こちらが3つの地域に分けようと考えた理由です。また、地域を良く理解している発注者と相談しながら地域分けをしていこうと考えていますが、今のところは赤坂・南青山・北青山に分けることを想定していま |

| | |
|-------|--|
| D 委員 | す。 3つの地域に分ける際は、参加する団体に偏りがないように相談しながら決めていくということでしょうか。 |
| 事業者A① | 参加団体や地域の分布状況を確認しながら、考えていきます。 |
| D 委員 | 全体交流会はかなりの規模になると考えられます。どの程度の規模を想定していますか。また、スタッフの応援体制はいかがでしょうか。 |
| 事業者A① | 最大で50団体の参加を想定しています。また、コロナ禍でもあり、より広い会場での開催が考えられるため、十分な人数を確保できるように考えています。 |
| D 委員 | 最終的には、団体同士の交流が自発的に行われることを目的としていますが、自発的な交流が行われるための具体的な手法を教えてください。 |
| 事業者A① | 現在は、他の活動団体を知る手段が少ないです。活動団体の活動内容、連絡先等が記載されている冊子を作成することで、冊子を読んだ団体が、一緒に活動できそうな団体の目星をつけられるきっかけになると考えます。 また、交流会の中で、課題を話し合い、解決方法を話し合うといったグループワークを通して、課題を一緒に解決できる団体の組み合わせを考え、自発的な活動が行われると考えます。 |
| E 委員 | 情報共有の場である赤坂青山広場は、コロナ禍もあって非常に重要だと思います。この赤坂青山広場と交流会を、それぞれどのように進めていきますか。 |
| 事業者A① | 自発的に交流する仕組みを作るためには、インターネットやSNSを活用した情報共有の場が良いと考えています。そのため、交流会は、対面で集まることができず、開催頻度が少なく参加団体が限られる可能性もある一方で、赤坂青山広場はインターネットやSNSで気軽に活用できる場、といった使い分けをイメージしています。 |
| E 委員 | 赤坂青山広場は非常に有効だと思いますが、インターネットやSNSなどを使いこなせない団体を、どのように支援しますか。 |
| 事業者A① | まずは、団体の意見を聞いた上で、赤坂青山広場を立ち上げます。 全体交流会では、団体に赤坂青山広場の使い方を説明したり、誰でも使い方が分かる説明書のようなものを作成し、配布します。また、立ち上げ後の暫くの間はサポートをしていくように考えています。 |
| 委員長 | 1年目の人員体制は3名でお考えかと思いますが、2年目の人員体制はどのようにお考えでしょうか。 |
| 事業者A① | 3名体制を考えていますが、参加団体が増えていき体制が不十分になれば、人数を増やしていきます。 |
| 委員長 | こちらの業務については、組織として情報共有を行いますか、それとも担当者のみ情報共有が行われますか。 |
| 事業者A① | 部内の各業務を担当している全員が情報共有を行い、人員の補充など柔軟に対応していきます。 |
| 委員長 | この業務を請け負うにあたり、赤坂青山特有の課題だと感じることはありませんか。 |
| 事業者A① | 特に青山の地域では、様々なコミュニティがあると理解しました。そのような人々を結び付けていくのがこの地域特有の課題だと考えました。 |

| | |
|------|---|
| 事務局 | <p>4 第二次審査結果及び事業候補者の選考について 採点結果の報告</p> <p>評価点は、選考の目安である6割を超えています。</p> |
| B 委員 | <p>各委員から講評</p> <p>事業について非常に良く理解していたと思います。Win-Win の関係となる活動団体同士の結びつきの具体例をあげていたところが良かったです。しかし、地域特性についてはもう少し深く述べていけば良かったと思います。業務に対する意欲、積極性、協調性については、コロナ禍で交流会が開催されなかった場合の代替案を提案していたり、参加者のニーズに応じていこうとする意識を伺えました。3つの地域に分けた場合の、全体の情報共有の方法にも柔軟性があり、評価しました。</p> |
| C 委員 | <p>提案冊子が端的に分かりやすくまとまっており、まとめるスキルがあると感じました。積極性や柔軟性についても、しっかり対応できる業者だと思いました。</p> |
| D 委員 | <p>受け答えが的確で、積極的な姿勢が感じられたため、業務に対する意欲を評価しました。3つの地域分けについても柔軟性も感じられました。</p> |
| E 委員 | <p>全体交流会では50団体が参加しても対応できるというところも評価しました。具体性に欠けることもありましたが、3つの地域分けについては、意見を聞きながら進めていこうとしている点が良かったと思いました。</p> <p>また、地域の特性も理解していると思いました。</p> <p>参加団体や区と調整しながら、誠実に業務に取り組んでいく姿勢が感じられましたので、協調性を高く評価しました。</p> |
| 委員長 | <p>受け答えから誠実さを感じました、事業者Aが、この事業に対するイメージをしっかりと持ってきていると感じました。交流会や情報発信の仕方などの、すみわけができており、考えられていると思います。</p> <p>見通しを持ちながら、という点では、実際に業務に取り組みながら筋道をつけていく力があると感じました。信頼が持てると感じました。</p> |
| 委員長 | <p>講評を聞いたうえで、採点の変更はありますか。</p> <p>(委員一同、変更なし)</p> |
| 委員長 | <p>審査の結果、A事業者を委託事業候補者と決定します。</p> <p>(委員一同、異議なし)</p> |
| | <p>5 その他</p> <p>(事務局より今後のスケジュールについて説明)</p> |
| 委員長 | <p>6 閉会</p> <p>(閉会の挨拶)</p> |